一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会

「平成25年度 チームケア推進リーダー養成研修」募集要綱

1　目　的

在宅等において人生の最期を迎えることを希望する人達のニーズに応えるため、終末期ケアに重点化したケアプラン作成および自立支援をめざした総合的なケアプラン作成等について、他の介護支援専門員に教示できる高い専門性と倫理観を備えた介護支援専門員を養成することを目的とする。

2　到達目標

以下の知識・技術を身につけることを目標とします。

①「本人･家族の意思を尊重し、望む生活を支える」という基本姿勢を身につける。

②「終末期の生活支援に必要なケアを整える」ために必要な知識を学ぶ。

③「継続的・包括的ケアマネジメントの展開」にむけた視点と技術を磨く。

④「ケアする側への教育とサポート」の必要性を理解し、指導的役割を果たす基礎とする。

3　研修受講資格

終末期ケア等における専門性の高いケアプラン作成能力を備え、研修修了後に、主任介護支援専門員および介護支援専門員を対象としたチームケア推進研修において指導者として従事することを希望する**主任介護支援専門員**で、全日程受講可能な方。

4　定　員　　４０名程度

5　研修日程　　平成25年10月～11月(全5日間)

実　施　日　程			研　修　会　場
開講日	平成25年10月 12日（土）	9:00～17:00	兵庫県立のじぎく会館203・204 (神戸市中央区山本通4－22－15)
2日目	10月 19日（土）	9:00～17:00	
3日目	11月　3日（日）	9:00～17:00	私学会館 206 (神戸市中央区北長狭通4－3－13)
4日目	11月 17日（日）	9:00～17:00	兵庫県立のじぎく会館203・204 (神戸市中央区山本通4－22－15)
5日目	11月 30日（土）	9:00～17:00	

6　研修カリキュラム　　裏面ご参照下さい。

7　受講料　　１５，７５０円

一旦納入された受講料は、理由の如何を問わずお返し出来ませんのでご了解下さい。

（研修期間中に欠席がある場合は研修修了になりませんので、ご注意下さい。）

8　申込締切　　平成２５年　８月３１日（土）消印有効

9　申込方法

別紙「平成25年度 チームケア推進リーダー養成研修受講申込書」に必要事項を記入、押印し、主任介護支援専門員研修修了証明書の写しと課題レポート「終末期におけるチームケアの意義とケアマネジャーの役割」（800字～1000字厳守）A4　1枚程度を**添付のうえ郵送**にてお申し込み下さい。

10　受講決定

①当協会が定める受講要領に基づいて審査を行ったうえ、受講者を内定し、申込書記載のご所在地に内定通知及び振込用紙を送付します。

②受講内定通知後 指定期日内に受講料をお支払い頂きました方を受講者として決定します。

③期日内に受講料を納入されなかった方については受講されないものとみなし、次点の方を繰り上げ決定させて頂きますので、ご注意下さい。

11　修了証明書　　研修の**全課程を修了**した方には兵庫県知事による修了証明書を発行します。

12　その他

(1)　平成25年度 チームケア推進リーダー養成研修受講申込書に記載された個人情報につきましては、兵庫県介護支援専門員協会「個人情報管理規程」に基づき適切に管理し、無断で第三者に提供することはありません。

(2)　研修会場には駐車場がありませんので公共交通機関でお越し下さい。

(3)　食事は各自でご準備ください。

13　申込書送付先及び問い合わせ先

〒651-0062　神戸市中央区坂口通2-1-1　兵庫県福祉センター５階
一般社団法人　兵庫県介護支援専門員協会　事務局
ＴＥＬ　０７８－２２１－４１０２

兵庫県介護支援専門員協会（兵庫県「地域における看取り促進事業」委託事業）

平成25度（第1回） チームケア推進リーダー養成研修事業 研修カリキュラム

	日程	柱立て	課目（研修テーマ）	時間数（分）	講 師
1日目	10 月 12 日（土）9 時～17 時	本人・家族の意志を尊重し、望む生活を支える	□総論～「生命倫理」と「悲嘆」の視点から～ ●思いや願いを引き出し、寄り添う支援の考え方 ●死の準備教育・グリーフケアの知識 ●ケアする側への倫理教育（死生観、自己知覚）	180	調整中
			□「倫理」を基盤とした実践の重要性 □利用者・家族の理解（心理面） □家族支援の必要性、支援方法	60 60 60	調整中 稲松真人 稲松真人
2日目	10 月 19 日（土）9 時～17 時	生活を支えるケアを整えるための知識	□在宅医療・緩和ケアの基礎知識 ●疼痛緩和を主とした症状コントロールの基礎知識 ●緊急時の対応、看取りの対応	90 90	関本雅子
			□療養環境の整備の視点と方法 □状態に応じたケア・サービス導入のマネジメント □在宅ターミナルケアのための社会資源の活用	60 60 60	鶴本和香
3日目	11 月 3 日（日）9 時～17 時	継続的・包括的ケアマネジメントを展開する	□自立支援にむけたケアマネジメントの具体的展開 □医療（医師、医療機関）との連携のポイント （退院支援における連携を中心に）	90 90	足立里江 内田美穂 谷義幸
			□インフォーマルサポートの意義と連携 □多様なチームワークの理解とネットワーキング （演習を含む）	60 120	同上
4日目	11 月 17 日（日）9 時～17 時	ケアする側への教育とサポートの必要性への理解	□ケアする側のストレスの理解と対処法 □地域における横の連携、ケアマネ支援の方法 □ターミナルケアに関する知識・技術の伝達方法	60 60 60	稲松真人 石井久仁子 永坂美晴
			□多様な研修方法の理解／事例検討による学習法 □事例をもとにした演習①	180	研修単位認定委員会委員
5日目	11 月 30 日（土）9 時～17 時	推進リーダーとして実践するために	□事例をもとにした演習② □本研修修了後のチームケア推進研修について ●チームケア推進研修の説明 ●実施打ち合わせ（研修プログラム作成・共有）	240 120	研修単位認定委員会委員

注）9 時～17 時にはオリエンテーション、休憩時間、連絡等の時間調整を含む。